

『ことばの力』育成プログラム

領域別達成目標

領域 学年	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
中学校 3年生	様々な考えや情報を、分析しながら聞くことができる。	必要な情報を取り出し、自分の考えをまとめながら読むことができる。	話し合いの中で、よりよい考えを見出し、説得力のある根拠を示しながら表現することができる。	情報を集めて考えを練り、1200字程度の論述的な文章を書くことができる。
中学校 2年生	様々な考えを、比較しながら聞くことができる。	新聞のコラム等を読み、その文章の構成や工夫に注意しながら読むことができる。	社会生活に関わる話題に対して、自分の言葉で根拠を示しながら話し合うことができる。	必要な情報を集め、800字程度の文章を書くことができる。
中学校 1年生	様々な考えを、自分の意見をもちながら聞くことができる。	内容について自分の考えをもちながら音読や朗読することができる。	日常生活に関わる話題に対して、自分の言葉で話すことができる。	本や新聞を読み、自分の考えを400字程度の文章で書くことができる。
小学校 高学年	相手の意図をとらえながら聞くことができる。	様々な分野の本を読み、考えを広げたり深めたりしようとする態度を身に付けることができる。	調べて考えたことを、キーワードに基づき、プレゼンテーションをすることができる。	自分の考えたことを、相手にわかりやすく伝えるように、短い文章に書くことができる。
小学校 中学年	話の中心に気を付けて聞くことができる。	幅広く読書しようとする態度を身に付けることができる。	ルールを守り、話題に沿って話し合うことができる。	語彙を増やすとともに、読んだり調べたりしたことを、短くまとめることができる。
小学校 低学年	人の話をしっかり聞くことができる。	言葉のリズムを感じながら音読することができる。	経験をもとに、自分の考えを発表することができる。	経験したことや想像したことを、進んで書こうとする態度を身に付けることができる。
こども園 幼稚園 保育園	人の話や絵本の読み聞かせに興味や関心をもち、イメージをふくらませながら聞くことができる。	知っている文字を拾い読みしたり、絵本を読んだりする楽しさを通して、読もうとする気持ちをもつことができる。	思ったことや想像したことを、言葉や身体等で表現し、相手に伝えようとする態度を身に付けることができる。	遊びや生活の中で文字に興味や関心をもち、書こうとする気持ちをもつことができる。

「聞く」「読む」「話す」「書く」活動を総合的に取り入れた実践を行うことで、それぞれの目標が達成され、思考力・判断力・表現力等、『ことばの力』の育成につながるという形で作成しています。

(青塗りの箇所は各段階における重点目標)

**全教科・領域を通して、総合的に、
『ことばの力』(汎用的能力)を育みます！**